

公益財団法人
どうぶつ基金
活動報告書

ANIMAL ACTION FUND ACTIVITY REPORT

2023.4.1 – 2024.3.31

2023

さくら・にゃん・にゃん
3.22
3月22日は「さくらねこの日」



659-0004 兵庫県芦屋市奥池南町71-7
TEL:0797-57-1215 FAX:0797-25-2075
contact@doubutukikin.or.jp www.doubutukikin.or.jp

どうぶつ基金



※古紙リサイクル適性ランクリストのAランク資材のみを使用して製作されたリサイクル対応型印刷物です。古紙になった場合、印刷・情報用紙向けの製紙原料として使用が可能です。

一人でも多くの人に知ってもらいたいので、この資料を読み終えたら他の人に渡してください。



公益財団法人
どうぶつ基金
ANIMAL ACTION FUND



お礼とご報告

皆様へ

日頃より、どうぶつ基金を応援していただき、心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの感染が落ち着いたことを受け、2023年度は規制と制限が緩和され、どうぶつ基金は全国の動物たちからのヘルプの声に応えるため、積極的に活動を展開しました。

行政による犬や猫の殺処分数はTNR(Trap-Neuter-Return)の成果もあり、大幅に減少していますが、一方で多頭飼育崩壊は依然として取束せず、対応に追われています。

特に、北海道佐呂間町から2023年5月に緊急支援要請があった「犬120頭と乳牛十数頭の多頭飼育崩壊」の現場は非常に厳しい状況でした。「牛舎内で100頭を超える犬の多頭飼育崩壊」という前例のない事態に、どうぶつ基金は獣医療チームを派遣し、不妊手術、ノミダニ駆除、狂犬病ワクチン接種などの獣医療を提供しました。その後、官民が協力して解決に取り組み、2024年4月には野犬化して捕獲が困難な7頭を除く74頭が大阪府のボランティア団体のシェルター等に譲渡・移送され、問題解決に向けて着実な進展がありました。

他にもさまざまな問題に対応しなければならない年度でしたが、一つ一つの課題に丁寧に向き合い、大きな成果を上げることができました。これらの成果は、ともに「殺処分ゼロ」を目指す皆様の応援のおかげであり、心から感謝申し上げます。あらためて深くお礼申し上げますとともに、ここに1年間の活動をご報告いたします。



公益財団法人どうぶつ基金 理事長

佐上邦久

さくらねこTNRで殺処分ゼロ!





乳牛のいる牛舎にひしめく犬120頭… 前例のない大規模多頭飼育崩壊に 官民連携で立ち向かう

「犬120頭の多頭飼育崩壊が発生している」

2023年5月、北海道佐呂間町から緊急支援要請が届きました。送られてきた現場写真には、牛舎内にひしめく犬たち、降り積もった雪に埋もれそうになりながら寒さに耐える犬たちが写っていました。

牛舎で120頭を超える犬の多頭飼育崩壊は、どうぶつ基金でも前例がありません。すぐに佐呂間町を訪問して現場を視察しました。この時点で行政職員とボランティアによる清掃と管理が行われていたものの人員不足は否めず、糞尿で汚染された牛舎にストレスとエサ不足でやせ細った十数頭の乳牛と100頭近い犬が共に“生かされて”いました。



生まれた子犬が牛に踏まれてなくなることも…

飼い主が犬を飼い始めたのはもう何十年も前、敷地内に捨てられていた犬を保護したことがきっかけです。不妊手術をしなかったことから犬が増え始め、放し飼いとなっている犬が敷地から逃げ出し、捕獲されることもしばしば。牛舎内に押し込められた犬は隅っこでひしめき合い、生まれた子犬が牛に踏まれて亡くなることもあったと言います。もはや「飼っている」とは言えない悲惨な状況でした。

度重なる指導も改善は見られず

近隣住民からは何度も苦情が寄せられ、犬を係留するよう指導したものの全頭を係留することはできませんでした。人に慣れておらず、飼い主でさえ触ることが困難なためです。放し飼いの禁止、飼育環境の改善、出生の管理等の指導を毎年複数回行ってきましたが、意味をなさない指導で改善されるはずはなく頭数は増え続けました。



前例のない事態に官民が立場を超えて協働！

「牛舎内で100頭を超える犬の多頭飼育崩壊」という前例のない事態に、官民が立場を超えて協働し解決にあたりました。どうぶつ基金支援チームは8名(獣医師5名、愛玩動物看護師1名、スタッフ2名)で参加し、不妊手術、ノミダニ駆除、狂犬病ワクチン接種、その他獣医療を提供。

佐呂間町、オホーツク総合振興局、オホーツク獣医師会、農協、地元ボランティア(個人・団体)はそれぞれの知見を持ち寄り、手術後の犬を牛舎に戻さないための新犬舎の設置、既存の犬舎や囲いの修理・補強、捕獲器の準備・貸出、人馴れしていない犬の捕獲、手術および手術助手、術前・術後のケア、衛生管理(ケージや手術器具の洗浄・消毒)等、犬と牛の両方を救うべくご尽力いただきました。

搬入数	76頭(子犬の保護などで頭数が減り支援申請時は概算で78頭)
手術対象	76頭
手術実施数	76頭 内訳: オス34頭、メス42頭(うち妊娠7頭)
未手術数	2頭(捕獲できず)
死亡数	0頭
処置内容	不妊手術、ノミダニ駆除、狂犬病ワクチン接種、その他獣医療

	オス	メス(うち妊娠)	計
6月27日	4	17(5)	21
6月28日	23	16(1)	39
6月29日	7	9(1)	16

手術会場の設置や撤収を含めて2023年6月26日~30日の5日間で行われ、その時点で捕獲された76頭全頭の不妊手術を無事に終えることができました。

多頭飼育崩壊=動物虐待という正しい認識を!

2023年12月11日、動物虐待防止に取り組む兵庫県のNPO法人「どうぶつ弁護団」が、長期間にわたり劣悪な環境で多数の犬を飼養していたとして、今回の多頭飼育崩壊当事者である牧場主の70代男性を動物愛護法違反の罪で刑事告発しました。今回の「どうぶつ弁護団」の告発は、多頭飼育崩壊が動物虐待であり、動物愛護法違反にあたることを知らしめてくれました。

多頭飼育崩壊=ネグレクト=動物虐待であるということ。

そして、動物虐待は動物愛護法違反で罰を受けるべき犯罪であるということ。

動物愛護団体、自治体の職員、警察など多頭飼育崩壊の救済に関わる人間はこの点を決して忘れてはいけないと強く思います。

※こちらの記事もあわせてご覧ください。

【どうぶつ弁護団・活動報告】



北海道佐呂間町、犬多頭飼育崩壊につき告発状が受理されました

【さくらねこ便り】



多頭飼育崩壊=動物虐待という正しい認識を!



日本アニマルトラスト(大阪)が現場に残された犬74頭を受け入れてくれました。



不妊手術後、地元ボランティアグループ「佐呂間わんず」のお世話を受けながら里親が現れるのを待っていた犬たち。しかし、人馴れも進まず譲渡の申込みも少ない状況が続いていました。とはいえ、北海道内に70頭を超える犬を受け入れられる保護団体はありません。

そこで手をあげてくださったのが、大阪府にある「公益財団法人日本アニマルトラスト」です。2023年2月、4月の2回に分けて74頭が公益財団法人日本アニマルトラストの保護施設「ハッピーハウス」に引き取られました。ここで人と暮らすために必要なトレーニングを受けながら、自分だけの家族を待ちます。



佐呂間町の現場には、捕まえることができなかった8頭がまだ残っていますが、捕獲ができ次第、公益財団法人日本アニマルトラストへ移送されることになっています。

今回の移送にあたり、どうぶつ基金は移送費用の一部を支援させていただきました。彼らが人と暮らす喜びを知り、ハッピーハウスから里親さまの元に旅立ち、幸せをつかむことができますように…



～公益財団法人日本アニマルトラスト～
佐呂間の犬たちも里親募集中です。ぜひ会いに行ってください!

佐呂間町から感謝状をいただきました。



協働いただいた皆様

- ・佐呂間町
- ・オホーツク獣医師会（北海道獣医師会オホーツク支部）
- ・オホーツク総合振興局保健環境部環境生活課自然環境係
- ・佐呂間町農業協同組合
- ・犬のM基金（ボランティア団体）
- ・個人ボランティアの皆様
- ・ルル動物病院
- ・公益財団法人日本アニマルトラスト様
- ・佐呂間町の犬たちのためご寄付、ご支援いただいた皆様

ご協力ありがとうございました！

前例のない事態に注目が集まり、多くのメディアで取り上げられました

北海道テレビ放送（HTB）/ NHK北見放送局 / 北海道放送（HBC）/ 札幌テレビ放送（STV）/ 北海道文化放送（UHB）
北海道新聞 遠軽支局 / 朝日新聞 網走支局 / 読売新聞 北見支局 / 毎日新聞 北海道報道部北見 /



佐呂間町長 武田温友 様 教訓として今後の支援体制づくりに取り組む

佐呂間町は酪農の町であり、牧場内で多頭飼育崩壊が発生したことに、当初大きな衝撃を受けました。どうぶつ基金の支援を受け、事態の解決に向けて、農協、獣医師会、ボランティア団体、振興局職員、そして役場職員が一丸となって取り組んだ結果、全頭の不妊手術を実施できたことにつきまして深く感謝申し上げます。これを契機に、同じことを二度と起こさせないよう課題に取り組み、人と動物の関係が良好になるよう、行政としてできる限りの支援に取り組んでまいります。



オホーツク獣医師会 会長 増田悦郎 様 「動物愛護部会」を立ち上げ活動を開始

佐呂間町内で発生した犬約100頭の多頭飼育崩壊に対し、救済支援をしていただきました公益財団法人どうぶつ基金様に心より感謝を申し上げます。私も多頭飼育崩壊救済対応にボランティアとして参加させていただき、獣医師会として動物愛護に取り組む必要性を強く感じ、オホーツク獣医師会の理事会に諮り「動物愛護部会」を立ち上げ、人と動物が共生できる社会の実現に向けて活動を開始しました。



※うち1件は犬の多頭飼育救済(76頭)

ヒトも動物も救う、それがどうぶつ基金の多頭飼育救済。

多頭飼育崩壊の現場は想像を絶するほど悲惨です。糞尿やゴミであふれかえり、清潔な水も十分な餌もない、ケガも病気も放置され、子猫や子犬が生まれては死んでいく。

まさに地獄のような環境で生きることを余儀なくされた猫や犬を救うための最初の一步、それは全頭の不妊手術です。繁殖を止めることで、飼い主に考える・行動できる時間を与え、関係者のサポートのもと生活を立て直してもらおう。どうぶつ基金の多頭飼育救済は、ヒトと動物を同時に救うための支援であり、ボランティアの二次崩壊の防止にも役立っています。



2023年度、どうぶつ基金が実施した多頭飼育救済支援は83件でした。平均すると1カ月に7件もの支援を行ったこととなりますが、この83件は氷山の一角です。逃げ出すこともできず、空腹や苦痛に耐える日々を過ごす犬や猫たちは全国に数えきれないほどいます。

2020年に改正動物愛護法が施行され、行政機関は多頭飼育崩壊現場に立ち入り検査ができるようになりました。全国の行政機関は、動物の命を救い、飼い主に支援の手を差し伸べ、周辺環境を改善するため、この権限を形骸化させることなく活用する義務があります。



環境省「人、動物、地域に向き合う多頭飼育対策ガイドライン ～社会福祉と動物愛護管理の多機関連携に向けて～」

voice

鹿児島県阿久根市

当事者宅の近辺は、大きな神社があって来訪される方が多い地域です。これまで無秩序な繁殖により周辺住民の生活環境が損なわれ、通行人にも影響が出ていましたが、不妊手術を行うことで猫自体が穏やかになり、その後の影響は激減しました。当事者には認知症の疑いがあるので、支援後のフォローを適正に行っていきたいと考えています。

東京都八王子市

生活保護担当部署と連携して多頭飼育救済を行った初めての案件であったため、手探りの実施となりました。生活保護担当部署やボランティア団体、どうぶつ基金による迅速な対応のおかげで比較的円滑に実施できましたが、当事者との面談や生活保護担当部署とのやり取りにおいて、もう少しスムーズにできた部分があったと感じています。

青森県青森市

当事者宅に猫がたくさんいるのを確認してから申請するまでに時間がかかり、その間にも子猫が生まれ亡くなってしまったので、もっと早く申請ができていたらと感じています。ほとんどがメスで妊娠していた猫もいたため、申請後すぐにチケットが発行されて不妊手術ができ、本当に良かったと思えました。

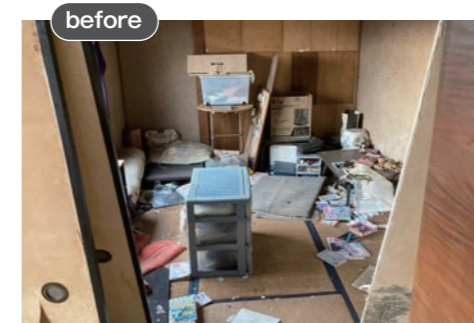
鹿児島県鹿児島市

多頭飼育崩壊を探知した当時、当事者には周囲に相談できる人がおらず、猫のことだけでなく、生活全般に不安を抱えている状態でしたが、今回の支援をきっかけに、障がい者の支援団体と繋がることができ、就労先の紹介を含めて相談に乗ってもらえることになりました。猫の繁殖の恐れもなくなり、相談相手もできたことで、当事者も安堵している様子でした。

多頭飼育救済支援事例



茨城県桜川市



鹿児島県鹿児島市



2023年度 多頭飼育救済累計表 (2024年3月31日現在 ※佐呂間町の犬多頭飼育救済を除く)



申請者	オス	メス	耳カットのみ	合計
鹿児島県さつま町	14	25	1	40
福島県白河市	4	6	0	10
沖縄県与那原町	11	15	0	26
北海道岩内町	14	10	0	24
群馬県沼田市	3	4	0	7
群馬県伊勢崎市	11	4	0	15
北海道帯広市	13	17	0	30
鹿児島県鹿児島市	6	6	0	12
群馬県藤岡市	5	4	0	9
鹿児島県阿久根市	11	9	0	20
福岡県新宮町	7	2	0	9
埼玉県東松山市	8	15	0	23
三重県名張市	12	25	0	38
群馬県渋川市	4	9	0	13
福岡県福津市	12	2	0	14
茨城県龍ヶ崎市	7	14	0	21
埼玉県川口市	14	9	0	23
鹿児島県鹿児島市	7	8	0	15
宮城県大崎市	8	6	0	14
宮崎県都城市	3	1	0	4
鹿児島県鹿児島市	14	12	0	26
群馬県君津市	4	9	0	13
群馬県安中市	5	3	0	8
鹿児島県鹿屋市	0	6	0	6
千葉県成田市	2	9	0	11
北海道小樽市	3	8	0	11
宮城県気仙沼市	0	4	0	4
秋田県八峰町	13	17	0	30

申請者	オス	メス	耳カットのみ	合計
埼玉県伊奈町	16	17	0	35
沖縄県糸満市	5	3	0	8
群馬県安中市	8	12	1	21
鹿児島県日置市	7	6	0	13
茨城県稲敷市	6	6	0	12
群馬県甘楽町	3	5	0	8
鹿児島県鹿児島市	7	3	0	10
鹿児島県鹿屋市	9	11	0	20
東京都東大和市	7	2	0	9
北海道共和町	3	3	0	6
北海道上砂川町	0	0	0	0
奈良県五條市	5	19	1	25
埼玉県吉見町	21	23	0	44
鹿児島県霧島市	7	8	0	15
群馬県安中市	10	17	0	27
埼玉県川越市	22	27	1	50
群馬県前橋市	9	10	0	19
鹿児島県日置市	9	8	0	17
東京都青梅市	6	5	0	11
青森県青森市	2	20	0	22
茨城県日立市	6	6	0	12
大阪府松原市	11	12	0	23
鹿児島県鹿児島市	7	2	0	9
茨城県稲敷市	5	5	0	10
北海道羽幌町	12	13	0	25
東京都瑞穂町	5	10	0	15
福岡県宗像市	6	12	0	18
富山県富山市	20	38	0	58

申請者	オス	メス	耳カットのみ	合計
滋賀県甲良町	22	26	0	48
兵庫県川西市	15	15	0	30
鹿児島県鹿屋市	1	10	0	11
東京都日の出町	3	12	0	15
和歌山県かつらぎ町	15	14	1	30
福岡県大野城市	9	6	0	15
北海道石狩市	7	10	0	17
沖縄県宜野湾市	8	6	0	14
北海道共和町	15	20	0	35
群馬県藤岡市	17	7	0	24
群馬県伊勢崎市	9	12	0	21
沖縄県糸満市	5	3	0	8
北海道乙部町	6	8	0	14
茨城県桜川市	1	3	0	4
長野県松川村	7	1	0	8
佐賀県鳥栖市	6	2	0	8
埼玉県さいたま市	6	9	0	15
宮城県大河原町	5	9	0	14
北海道俱知安町	7	11	0	18
長野県上田市	10	6	0	16
愛知県知多市	33	23	0	56
奈良県御所市	0	0	0	0
群馬県渋川市	10	6	0	16
東京都八王子市	7	5	0	12
鹿児島県鹿児島市	6	5	0	11
埼玉県越谷市	18	21	0	39

どうぶつ基金が実施するさくらねこ無料不妊手術

2023年度は53,093頭の さくらねこ無料不妊手術を行いました。



2022年度、猫の殺処分数は全国で9,472頭でした。保健所やセンターに持ち込まれた所有者不明猫のうち84%が生まれて間もない幼齢猫でした。生まれてスグに殺される。そんな悲劇は、不妊手術さえしていれば起きなかったのです。どうぶつ基金では、不妊手術が殺処分ゼロへの最も有効な手段と考えています。2023年度は53,093頭の猫に不妊手術を実施しました。 ※実施頭数は2024年4月30日時点の集計による

登録行政数 **491**件 一般枠協働ボランティア(のべ) **9,747**人 協力病院数 **194**病院
出張手術の回数と手術頭数(総数) **2**回(佐呂間町、三重県) 累計 **185**頭

2023年度登録行政一覧(491団体) (2024年3月31日現在)

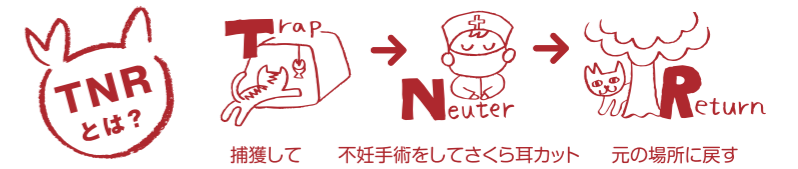
【北海道】後志総合振興局 / 乙部町 / 羽幌町 / 北見市 / 上砂川町 / 石狩市 / 佐呂間町 / 帯広市 / 岩内町 / 古平町 / 新ひだか町 / 倶知安町 / 占冠村 / 蘭越町 / 夕張市 営住宅管理センター / 名寄市 / 登別市 / 初山別村 / 苫小牧市 / 室蘭市 / 苫前町 / 中札内村 / むかわ町 / 江別市 / 千歳市 / 根室市 社会福祉協議会 / 共和町 / 森町 / 岩見沢市 福祉事務所 / 小樽市 / 北海道軽種馬振興公社 / 仁木町 【青森県】五所川原市 / 南部町 / 青森市 / 東北町 / 十和田市 / 三戸町 / 五戸町 【秋田県】八峰町 【岩手県】一関市 / 遠野市 【宮城県】塩釜保健所 岩沼支所 / 仙南保健所 / 東松島市 / 大崎保健所 / 石巻保健所 / 利府町 / 気仙沼保健所 【福島県】楡葉町 / 二本松市 / いわき市 / 白河市 / 広野町 【茨城県】水戸市 動物愛護センター / 五霞町 / 土浦市 / 桜川市 / 鹿嶋市 / 古河市 / 大子町 / 神栖市 / 小美玉市 / 笠間市 / 北茨城市 / 阿見町 / 潮来市 / 行方市 / 筑西市 / 茨城町 / 八千代町 / 常総市 / 下妻市 / かすみがうら市 / 日立市 / 稲敷市 / 坂東市 / 取手市 / 高萩市 / 龍ヶ崎市 / 大洗町 / 鉾田市 / 石岡市 / 常陸大宮市 【栃木県】野木町 / 小山市 / 足利市 【群馬県】嬬恋村 / 中之条町 / 沼田市 / 吉岡町 / 大泉町 / 富岡市 / 高崎市 動物愛護センター / 桐生市 / 甘楽町 / 伊勢崎市 / 下仁田町 / 渋川市 / 安中市 / 前橋市 / 藤岡市 【埼玉県】鴻巣市 / 春日部市 / 伊奈町 / 川口市 保健所 / 志木市 / 越生町 / さいたま市 動物愛護ふれあいセンター / 滑川町 / 美里町 / 上里町 / 川島町 / 白岡市 / 杉戸町 シルバー人材センター / 新座市 / 熊谷市 / 嵐山町 / 八潮市 / 朝霞市 / 飯能市 / 深谷市 / 日高市 / ふじみ野市 / 所沢市 / 松伏町 / 久喜市 / 富士見市 / 羽生市 / 鳩山町 / 加須市 / 幸手市 / 杉戸町 / 越谷市 / 小川町 / 神川町 / 和光市 / 毛呂山町 / ときがわ町 / 行田市 / 東松山市 / 川越市 保健所 / 吉川市 / 坂戸市 / 三郷市 / 吉見町 / 入間市 / 宮代町 / 浦和競馬組合 / 本庄市 【千葉県】富里市 / 成田市 / 白井市 / 八千代市 / 野田市 / 袖ヶ浦市 / 我孫子市 / 千葉市 動物保護指導センター / 市川市 / 君津市 / 富津市 / 長生村 / 多古町 / 一宮町 / 柏市 動物愛護ふれあいセンター / 松戸市 / 白子町 / 長柄町 / 株式会社日比谷アメニース東関東支店 / 流山市 / 四街道市 / 佐倉市 【東京都】日の出町 / 東久留米市 / 中野区 保健所 / 府中市 / 東村山市 / 瑞穂町 / 清瀬市 / 武蔵村山市 / 福生市 / 青梅市 / あきる野市 / 八王子市 / 日野市 / 多摩市 / 三鷹市 / 中央区 保健所 / 小平市 / 西東京市 / 調布市 / 奥多摩町 / 狛江市 / 東大和市 【神奈川県】開成町 / 南足柄市 / 藤沢市 / 平塚市 / 松田町 / 中井町 / 綾瀬市 / 真鶴町 / 小田原市 / 寒川町 / 茅ヶ崎市 / 大磯町 / 厚木保健福祉事務所 / 厚木保健福祉事務所 大和センター / 湯河原町 / 座間市 / 横須賀市 動物愛護センター / 箱根町 【新潟県】佐渡市 【富山県】富山県 動物管理センター / 氷見市 / 富山市 保健所 【山梨県】昭和町 / 韮崎市 / 中央市 / 上野原市 / 西桂町 / 市川三郷町 / 甲府市 / 甲斐市 / 鳴沢村 / 山梨市 / 忍野村 / 身延町 / 甲州市 / 笛吹市 / 南部町 / 富士吉田市 / 南アルプス市 / 大月市 / 山中湖村 / 富士河口湖町 / 都留市 【長野県】生坂村 / 上田市 武石地域自治センター / 松川村 / 飯田保健所 / 山ノ内町 / 木島平村 / 坂城町 / 佐久穂町 / 東御市 / 長和町 【岐阜県】白川町 / 土岐市 / 坂祝町 / 笠松町 / 下呂市 / 高山市 / 川辺町 / 本巣市 / 可見市 / 岐阜県健康福祉部 【静岡県】沼津市 / 伊東市 【愛知県】南知多町 / 知多市 / 豊山町 / 美浜町 / 知立市 / 犬山市 / 西尾市 / 北名古屋 / 一宮市 保健所 / 安城市 / 武豊町 / 新城市 / 江南市 / 常滑市 / 半田市 【三重県】名張市 / 三重県 動物愛護推進センター あすまいる / 伊賀保健所 / 多気町 / 伊賀市 / 大紀町 【滋賀県】豊郷町 / 甲良町 / 愛荘町 / 高島市 / 長浜市 / 堅田漁業協同組合 / 矢橋船島公園 / 多賀町 / 彦根市 / 草津市 【京都府】長岡京市 【大阪府】四條畷市 / 泉南市 / 大阪市 中央卸売市場本場 / 大阪府民の森 / 熊取町 / 忠岡町 / 岬町 / 田尻町 / 高石市 / 大阪狭山市 / 河内長野市 / 和泉市 / 大泉緑地管理事務所 / 岸和田市 / 島本町 / 枚岡公園管理事務所 / 山田池公園管理事務所 / 浜寺公園管理事務所 / 八幡屋スポーツパークセンター / 大阪学院大学 / 深北緑地管理事務所 / 泉大津市 / 太子町 / 富田林市 / 守口市 / 堺保健福祉センター / 三ノ瀬公園 / 柏原市 / 河南町 / 阪南市 / 門真市 / 大阪府 寝屋川公園 / 羽曳野市 / 大東市 / 松原市 / 花園中央公園 / 貝塚市 / 堺市 南区 / 久宝寺緑地管理共同体 / 泉佐野市 / 寝屋川市 / 藤井寺市 【兵庫県】西脇市 / 伊丹市 / 豊岡市 / 播磨町 / 尼崎市 動物愛護センター / 川西市 / 香美町 / 太子町 / 鳴尾浜臨海公園 【奈良県】河合町 / 黒滝村 / 香芝市 / 明日香村 / 三宅町 / 葛城市 / 田原本町 / 王寺町 / 高取町 / 五万人の森公園 / 桜井市 / 御所市 / 五條市 / 川西町 / 橿原市 / 宇陀市 / 三郷町 / 大和郡 山田市 / 斑鳩町 / 大和高田市 / 天理市 / 奈良市 【和歌山県】かつらぎ町 / 橋本市 / 新宮保健所 【鳥取県】南部町 / 日南町 【島根県】出雲市 【山口県】下関市 【高知県】高知県立美術館 【香川県】三豊市 / 観音寺市 【福岡県】苅田町 / 大木町 / うきは市 / 大刀洗町 / みやこ町 / 久留米市 / 太宰府市 / 小郡市 / 芦屋町 / 大牟田市 / 遠賀町 / 新宮町 / 吉富町 / 大川市 / みやま市 / 篠栗町 / 柳川市 / 志免町 / 広川町 / 古賀市 / 大野城市 / 筑後市 / 那珂川市 / 八女市 / 筑紫野市 / 飯塚市 / 宗像市 / 行橋市 / 福津市 【佐賀県】唐津市 / 武雄市 / 鳥栖市 / 基山町 / 多久市 / 上峰町 【長崎県】壱岐市 / 大村市 / 長崎市 【熊本県】和水町 / 宇土市 / 菊池市 / 合志市 / 荒尾市 / 熊本市 動物愛護センター / 南関町 / 長洲町 / 菊池保健所 【宮崎県】門川町 / 都農町 / 宮崎県 動物愛護センター / 新富町 / 五ヶ瀬町 / 小林市 / 都城市 / 延岡市 / 国富町 / 三股町 / 美郷町 / 木城町 / 高千穂町 / 日南市 / 日向市 【鹿児島県】枕崎市 / 肝付町 / 南九州市 / 長島町 / 鹿屋市 / 出水市 / 西之表市 / 三島村 / 霧島市 / 曾於市 / 始良市 / さつま町 / 阿久根市 / 湧水町 / 志布志市 / 伊佐市 / いちき串木野市 / 鹿児島市 保健所 / 十島村 / 日置市 【沖縄県】伊是名村 / 宮古島市 / 中山区 公民館 / 那覇市 / 西原町 / 座間味村 / 八重瀬町 / 金武町 / 北谷町 / うるま市 / 浦添市 / 南城市 / 那覇市 地域包括支援センター 松川 / 沖縄県 総合運動公園 / 今帰仁村 / 渡嘉敷村 / 与那原町 / 宜野座村 / 北中城村 / 安部区 / 中城村 / 嘉陽区 公民館 / 名護市 / 豊見城市 / 嘉手納町 / 伊江村 / 沖縄市 / 宜野湾市 / 読谷村 / 沖縄県 中部土木事務所 / ぎのわん 海浜公園 / 本部町 / 南風原町 / 恩納村 / 糸満市

どうぶつ基金が推進するさくらねこTNR。

- 即行 スグやる** 猫は1年に3回出産することができ、1度に5~7頭の子猫を産むことができます。生まれた子猫は6か月たつと妊娠が可能な年齢になり孫猫を産みます。TNRをゆっくり行っている、猫の繁殖スピードに追い付けません。
- 徹底 全部やる** 90%の猫にTNRをしても、残った猫からあつというまに増えてしまいます。だいたいやって満足するのではなく、100%の猫にTNRを行うことが大切です。
- 継続 続ける** 100%を目指してTNRを行っても、捕獲もれや新入りが見つかります。その都度、未手術の猫を見つけ、素早く対応していく管理体制を維持できれば殺処分ゼロ、苦情ゼロが実現できます。

さくらねこTNR (TNR先行型地域猫活動)

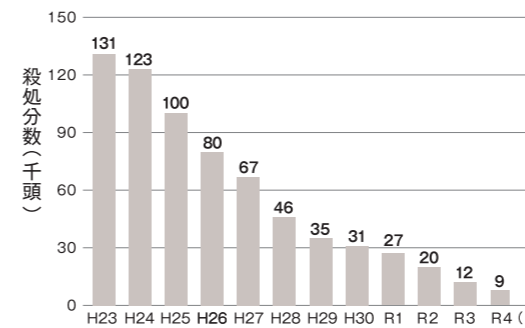
「飼い主のいない猫」に対し「さくらねこTNR」を実施することで繁殖を防止し、「地域猫」「さくらねこ」として一代限りの命を全うさせ、「飼い主のいない猫」に関する行政(保護団体)などへの苦情や、殺処分の減少に寄与する活動です。



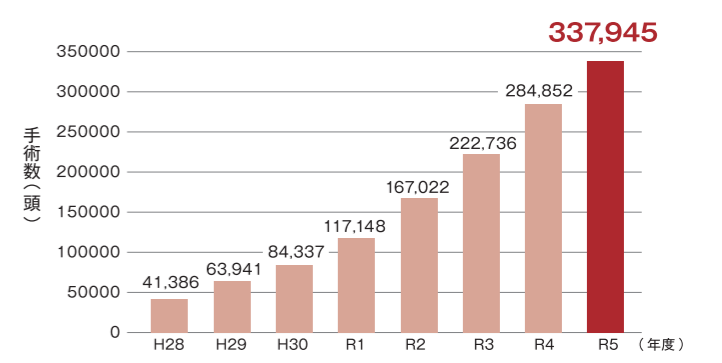
TNRは、トラップ(捕獲して)ニューター(不妊手術をしてさくら耳カット)リターン(元の場所に戻す)の略。どうぶつ基金では、TNRの実績豊富な獣医師や専門スタッフが、ご相談を受け付けています。

全国の猫の殺処分数の推移

環境省HPより令和5年度 環境省調べ



どうぶつ基金さくらねこTNR数累計



1,439組の協働ボランティアが21,807頭の猫を保護・里親探しをしました。

さくらねこTNRは猫を捕獲して(Trap)不妊手術をして(Neuter)元いた場所に返す(Return)ことが原則なのですが、多頭飼育崩壊や疾病、元いた場所の環境が劣悪など、さまざまな事情によりどうしても元いた場所にリターンできないことがあります。そんな時は協働ボランティアが保護して里親探しをする場合があります。ボランティアはほかに保健所で殺処分される猫の引き取りもしています。どうぶつ基金の1,439組の協働ボランティアは1年間に21,807頭の保護・里親探しをしました。

協働ボランティアとは？

どうぶつ基金の活動を共に支え、殺処分ゼロを目指す仲間たちのことです。協働ボランティアの多くはTNRのT(捕獲)とR(リターン)とその後の動物の世話をを行います。なかには出張手術にボランティアとして参加する獣医師や愛玩動物看護師もいます。ほかにも、パソコン、翻訳、デザイナー、マーケティング戦略など、仕事を通じて培ったスキルを活用してプロボノ参加する方や企業もあります。どうぶつ基金の活動は共に殺処分ゼロを目指すボランティアとの協働によって成り立っています。

※ボランティア参加の応募はHPから受け付けています。

2023年度
協力病院全国
194
病院

全国の協働ボランティアと協力病院

これまでに**337,945**頭の
さくらねこがうまれました。

さくらねこ無料不妊手術事業では、飼い主のいない猫の問題を、殺処分ではなく不妊手術によって解決しようとする行政や、ボランティアからの申請を受け、どうぶつ基金の協力病院で使用可能な「さくらねこ無料不妊手術チケット」を発行し、活動を支援しています。全国の協力病院とボランティアとの協働により、これまでに337,945頭のさくらねこが協力病院でうまれました。

※累計頭数は2024年4月30日時点の集計による



2023年度協力病院全国194病院
(2024年3月31日 時点)

ステッカーが目印です！
かわいい「さくらねこマーク」で
協力病院だと一目でわかると、
評判です。



何よりも大切なのは
外で産まれる猫を減らすこと

JUN動物病院 藤沼十月先生

どうぶつ基金を通じて、外で暮らす猫を減らすという活動に参加させてもらっていることをありがたく感じております。当院は東京都に近い千葉県ということもあり、近隣のTNRよりも千葉市や白井市、四街道市、東金市など遠方からの猫の搬入が増えています。行政からの依頼も多く、行政が地域猫活動に関心を持ってくれているとスムーズにTNRが進むので、今後もっといろんな自治体が参加してくれたらと願っています。多くの方が実感されていると思いますが、手術をやってもやっても終わりが見えないと頭を抱える日々です。それでも、地道に不妊去勢手術をしていくことが外で暮らす猫を減らすためには何よりも重要であると考えています。今後も行政やボランティアの方々と協力して、TNRを積極的に行っていきたいと思っています。

北海道 江別市 Mobile VET Office 沙流郡 るぼんず 千歳市 新千歳動物病院 稚内市 稚内動物病院 日高郡 本間動物病院	青森県 西津軽郡 よなが動物病院 八戸市 八戸のらねこ病院	秋田県 にかほ市 木村いぬ・ねこ病院	宮城県 塩竈市 フォルテ動物病院	福島県 いわき市 いながき動物病院いわき分院	茨城県 つくば市 ノモモベトメディカル 鹿嶋市 ノラネコ動物病院 石岡市 アジア動物医療リハビリテーションセンター 石岡市 茨城さくらねこクリニック 石岡市 石岡中央動物病院 土浦市 常南どうぶつ病院 土浦市 いながき動物病院土浦分院	栃木県 足利市 柿沼ベト病院	群馬県 桐生市 いながき動物病院桐生分院 高崎市 シートン動物病院 前橋市 そうじゃまち動物病院・ほご猫クリニック 藤岡市 ふー動物病院 群馬分院 邑楽郡 中村動物病院	埼玉県 さいたま市 もも動物病院 越谷市 せんげん台動物病院 越谷市 いながき動物病院 久喜市 久喜動物クリニック	熊谷市 ほかその動物病院 戸田市 ミニオン動物病院 戸田市 アーボック動物病院 上尾市 堀どうぶつ病院 深谷市 犬の産科クリニック 川口市 ライト動物病院 朝霞市 神山動物病院 八潮市 あーす動物病院 八潮市 ペットクリニックローバー 富士見市 ふじみ野動物病院 蕨市南 ワラビー動物病院	千葉県 鎌ヶ谷市 まごめ動物病院 市川市 JUN動物病院 習志野市 カンナ動物病院 幕張医院 松戸市 新松戸どうぶつ病院 成田市 Luna spay clinic 奈土診療所 船橋市 カンナ動物病院 船橋習志野医院 袖ヶ浦市 ふー動物病院 袖ヶ浦 銚子市 いながき動物病院銚子分院 東金市 いながき動物病院東金分院 柏市 カモミール動物病院 柏市 くわじま動物クリニック 茂原市 石井獣医科 野田市 みつば動物病院 流山市 カモミール動物病院 おおたかの森医院	東京都 葛飾区 のんのスベイクリニック 江戸川区 えどがわ犬猫びょういん 江戸川区 モネ動物病院 江戸川区 平井動物病院 狛江市 フルヤ ペットクリニック 渋谷区 フェネル動物病院笹塚本院 青梅市 ふう動物病院 足立区 ドラセナ動物病院 足立区 大師前どうぶつ病院 大田区 一三三動物病院 大田区 ウルトラ動物病院 大田区 いまい動物病院 大田区 西馬込動物病院 中野区 フェネル動物病院 町田市 明和動物愛護病院	調布市 飛田給動物病院 調布市 調布動物医療センター 調布市 くるみ動物病院 東大和市 湖畔どうぶつ病院 日野市 たかはた動物病院 日野市 きもと動物病院 八王子市 八王子mocoどうぶつ病院 武蔵野市 グリーンパーク動物病院 武蔵野市 三鷹獣医科グループ 武蔵野市 ひだまり動物病院吉祥寺 福生市 福生動物病院 立川市 おおにし動物病院 立川市 立川プラスワン動物病院 練馬区 むらかみ動物医院	神奈川県 愛甲郡 VOC外猫診療所 横須賀市 川畑動物病院 横須賀市 小川動物病院 横浜市 ライラック動物病院 新山下医院 横浜市 ブルーム動物病院 横浜市 さかい犬猫クリニック 横浜市 いなば動物病院 茅ヶ崎市 萩園どうぶつ病院 茅ヶ崎市 シーサイドアニマルクリニック 茅ヶ崎市 まつうら動物病院 三浦市 みさきローバー動物病院 三浦市 三崎動物愛護病院 小田原市 swingどうぶつ病院 川崎市 ヒナギク動物病院 川崎市 ヴィータ動物病院 相模原市 ふー動物病院 相模原市 陽光台グランベッツ動物病院 大和市 山口獣医科病院 中郡 かざしつぽクリニック	新潟県 魚沼市 ゆきのくに動物病院 佐渡市 島のどうぶつ診療所	山梨県 甲斐市 ふー動物病院 山梨分院 笛吹市 笛吹どうぶつクリニック	長野県 長野市 しんけん動物病院 飯田市 にじのはしスベイクリニック飯田診療所	富山県 滑川市 滑川さくらねこ動物病院 水見市 大谷獣医科 富山市 アスラン動物病院	岐阜県 羽島市 MiMiどうぶつ病院 羽島市 古田動物病院 羽島市 山下獣医科 各務原市 各務原動物病院 岐阜市 にじのはしスベイクリニック 高山市 にじのはしスベイクリニック高山診療所	静岡県 沼津市 どうあい沼津動物病院 浜松市 浜松家畜病院	愛知県 岡崎市 アロハ動物病院 岡崎市 ライオン動物病院 江南市 愛北動物病院 西尾市 藤ヶ丘動物クリニック ハート動物病院 知立市 スベイクリニックトラ知立出張所 日進市 ダイゴベトクリニック日進オハナ院 豊川市 ヤマヒロ動物病院 豊田市 アロハオハナ動物病院かまがわ公園 小動物クリニック 名古屋市 アメニティ動物病院	三重県 伊賀市 三重県獣医師会伊賀支部 津市 すきもと動物病院	和歌山県 岩出市 トリニティアニマルクリニック 和歌山市 さくら動物病院	奈良県 磯城郡 おおが動物病院	磯城郡 あかさか犬と猫の病院 香芝市 エース動物病院 生駒市 Rootsどうぶつ病院 天理市 スマイル動物病院 奈良市 あや動物病院 北葛城郡 はねベトクリニック	滋賀県 栗東市 こにし動物クリニック 犬上郡 にじのはしスベイクリニック多賀診療所	京都府 京都市 TNRサポートセンター	大阪府 交野市 イケモトベテリナリークリニック 堺市 堺スベイクリニック 泉南郡 ネコリハほごねこクリニック 大阪市 北堀江動物病院 大阪市 一犬猫病院 大阪市 天神橋/パンビの森どうぶつ病院 池田市 北摂TNRサポート のらねこさんの手術室 豊中市 ゆりの木動物病院 和泉市 PET WELL clinic	兵庫県 伊丹市 伊丹ねこスベイクリニック 神戸市 どちらにゃんクリニック 神戸市 リーベ動物病院 神戸市 ねごとわたしスベイクリニックKOBE 神戸市 のら猫クリニック兵庫 赤穂市 郷司動物病院 尼崎市 動物病院アニマルプラス	鳥取県 米子市 ふしい動物病院	広島県 広島市 あさ動物病院 福山市 さくらねこクリニック 福山市 りっか動物病院	高知県 高知市 アリスベトクリニック	土佐郡 ろばの子どうぶつ診療所嶺北分院	福岡県 京都郡 はなふさ動物病院 三潁郡 おおき犬と猫の病院 大牟田市 大牟田愛犬クリニック 大野城市 さくらねこ動物病院 福岡市 cat spot clinic 福岡市 なな。猫達のための病院	宮崎県 宮崎市 宮崎さくらねこ動物病院	熊本県 菊池郡 あーす動物病院	鹿児島県 始良市 加治木動物病院 始良市 帖佐ステラ動物病院 薩摩郡 はちどりTNR病院(さつま町分院) 鹿児島市 くすのき動物病院 鹿児島市 あいん猫と犬の病院 鹿児島市 中原犬猫診療所 鹿児島市 紫原動物病院 鹿児島市 かんまち犬猫クリニック 鹿児島市 ル・オーナベトクリニック 西之表市 はちどりTNR病院種子島分院 日置市 森の動物病院 霧島市 せとがわ動物病院	沖縄県 浦添市 フェイス動物病院 浦添市 保護猫とつながるクリニック 浦添市 みやうみやう動物病院	宮古島市 宮古島動物病院 中城村 TNRなかぐすく 北谷動物医療センター 中頭郡 TNRよみたん 中頭郡 みやざわ動物病院 那覇市 アイリスいぬとねこの病院 豊見城市 豊見城動物高度医療センター 名護市 TNRなご 名護市 名護動物医療センター
--	--	------------------------------	----------------------------	----------------------------------	---	--------------------------	--	--	--	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	---	--	---	---------------------------	--	--	-------------------------------	--	---	---------------------------	---	------------------------------	---------------------	--	-------------------------------	---------------------------	--	---	--

三重県モデルで10年、そしてこれからも。

これまでに**3,038**頭のさくらねこがうまれました。(2017~2023年度の累計)

どうぶつ基金では、猫の殺処分数の減少や地域における飼い主のいない猫による糞尿被害等の問題の解決に向け、「さくらねこTNR」(TNR先行型地域猫活動)に取り組んでいる三重県と連携し、2014年度から飼い主のいない猫の無料不妊手術等を行っています。

また、どうぶつ基金では行政獣医に不妊手術の技術指導を行っています。行政獣医の技術の向上によって、より安全確実な手術が行われるようになりました。

本事業の実績

2023年度(全1回) **109頭**(オス50頭、メス58頭、メス(妊娠)1頭、耳カット等のみ0頭)

2022年度(全1回) **181頭**(オス84頭、メス95頭、メス(妊娠)2頭、耳カット等のみ0頭)

2021年度(全2回) **349頭**(オス162頭、メス181頭、メス(妊娠)4頭、耳カット等のみ2頭)

2020年度(全2回) **375頭**(オス162頭、メス205頭、耳カット等のみ8頭)

2019年度(全3回) **354頭**(オス158頭、メス192頭、耳カット等のみ4頭)

※どうぶつ基金と三重県動物愛護推進センター「あすまいる」は、2017年9月に「さくらねこ不妊協働事業に関する協定」を締結しました。

2014年にスタートした協働事業は、今年で10年目を迎えました。

問題を解決するには何よりも不妊手術の先行が必要であるということから、三重県はTNR先行型地域猫活動にシフトチェンジを行い、行政とどうぶつ基金の事業は「三重県モデル」という先進の協働となり、継続して実施されています。どうぶつ基金顧問の山口獣医による不妊手術の技術指導も行われており、行政獣医の技術力向上へも貢献しています。三重県とどうぶつ基金はさくらねこTNRのトップランナーとして、これからも官民一体となって殺処分けゼロを目指します。

どうぶつ基金と行政との協働事業について

一般的に「行政との協働事業」というと、行政主導の税金事業が主です。が、どうぶつ基金の場合は、逆です。税金は使わず、どうぶつ基金が皆様からお預かりした寄付金で実行します。なので知恵を絞り、究極まで無駄を省いています。



2023年度も多くの方のご支援のもと、さまざまな活動を行うことができました!

宮崎県動物愛護センターとの協働プロジェクト始動

宮崎県動物愛護センターと協働で実施する「TNR先行型地域猫プロジェクト」が始動しました!

これまで**捕獲器100台を寄贈**したほか、宮崎県が動物愛護センターで行う飼い主のいない猫の無料不妊手術に使用する**3種混合ワクチンとノミダニ駆除薬1,200頭分を提供**しました。宮崎県(県所管地域)における猫の殺処分けゼロ実現を目指し、今後もさまざまな方法で協働してまいります!

TNRを加速するため自治体へ捕獲器を寄贈しています

かねてより、どうぶつ基金と協働している自治体から、「TNR希望者がいても貸し出せる捕獲器がない」「捕獲器があればもっと活動が進むかもしれない」という声が数多く寄せられていました。そこでアンケートを実施して捕獲器の希望を募ったところ、**113の自治体から合計605台の申し込み**がありました。

製造しながらの寄贈で時間はかかっていますが、現在、39の自治体へ捕獲器150台の寄贈を完了しました。残る455台も順次お届けしていきます。お申込みいただき、今か今かと到着をお待ちいただいている自治体の皆様、もう少しお待ちください!



山口武雄獣医師が第7回「川島なお美動物愛護賞」を受賞しました



動物愛護に貢献した個人や団体を表彰する「川島なお美動物愛護賞」の授賞式が9月24日、東京・京橋で開かれ、どうぶつ基金の顧問でもある山口武雄獣医師が大賞にあたる「動物愛護・川島なお美賞」に選ばれました!約40年にわたって動物保護活動に携わってきた山口先生。その手に命を救われ、生きる道が開かれた動物は数えきれません。彼らにとってはまさに「神様」の山口先生、受賞おめでとうございます。

詳しくはこちら





LINE公式アカウントを始めました。



どうぶつ基金の最新の活動はもちろん、イベントのご案内やスタッフのつぶやき、動物を取り巻く現状などをタイムリーにお伝えしていけたらと考え、LINE公式アカウントを始めました。試行錯誤しながら、多くの方に興味を持っていただけるコンテンツや情報をたくさんお届けできるよう発信してまいります。

どうぶつ基金について 6つのメニューをラインナップ



どうぶつ基金からの ニュースがタイムリーに届きます!

どうぶつ基金の最新の活動情報などをタイムリーに配信しています。



ニュース表示例

LINE VOOMでは 動画も配信しています!

TNRやさくらねこに関する豆知識などを分かりやすく動画で解説しています。



投稿表示例

6つのメニューから知れる内容とは?

メニューを選べると詳しい情報が表示されます。どうぶつ基金の活動内容についての詳細情報にアクセスできます。



メニュー表示例

LINE公式アカウントの 友だち登録はこちらから



PRESENT!

友だち登録後に簡単なクイズに答えると、どうぶつ基金のキャラクター「さくら」と「ひかり」のオリジナル壁紙をプレゼント!



声なき弱者に代わって声をあげる、それがどうぶつ基金の使命です。

どうぶつ基金では、動物愛護に関する課題を解決するため、オンラインによる署名活動のほか、自治体への要望書や質問状提出など、様々な働きかけを行っています。



オンライン署名

オンライン署名サイト「Change.org（チェンジ・ドット・オーグ）」でオンライン署名を募っています。現在実施している4つのキャンペーン（オンライン署名）は、どれも動物の命に関わる重要なもの。ひとり一人の賛同が社会を変える大きな後押しとなります。ぜひご賛同をお願いします。



沖縄県条例(案)から「ノラ猫への餌やり禁止条項」を削除してください



37,000人を超える方にご賛同いただいています
(開始日:2023年12月24日)

詳しく知りたい方、
ご賛同いただける方
はこちら



沖縄県が制定に向けて作業を進めている「沖縄県動物の愛護及び管理に関する条例(案)」の第13条(野良猫への餌やり禁止条項)は、具体的な餌やり禁止の条件が「県又は市町村が定める方法によらず」としか示しておらず、その方法以外では飢餓状態の野良猫に対して給餌や給水を禁止するという内容となっています。この条項は、日本国憲法第13条で保障された幸福追求権を侵害し、動物愛護管理法に抵触する可能性があるほか、市民団体が要求した「条例(案)策定過程の議事録の開示」が拒否される等、透明性も欠如しています。どうぶつ基金は、社会全体で野良猫問題を解決すべきだと考え、野良猫問題の解決に大ブレーキとなるこの条項に反対しています。

大阪市の街ねご事業(地域猫活動)の条件である自治会長の「合意書への署名」というハードルを無くしてください



15,000人を超える方にご賛同いただいています
(開始日:2023年10月28日)

詳しく知りたい方、
ご賛同いただける方
はこちら



大阪市では、ノラ猫を原因とする糞尿やうるさい鳴き声・ゴミを荒らすなどの生活環境被害や近隣トラブルなどの問題を「社会問題」としてとらえ解決を目指し、地域住民と行政が協働して取り組んでいく「所有者不明猫適正管理推進事業(街ねご事業)」を実施していますが、必須条件である「自治会長の合意書」が取れないために地域猫活動ができないという問題があります。この条件をなくして地域猫活動が円滑に推進されるようになった自治体が全国で増えています。地域猫活動実施の大きなハードルとなっている「自治会長の合意書」を不要にしたいと要望しています。

猫や犬の殺害犯罪をなくすためノネコ、ノイヌを狩猟鳥獣から削除してください



47,000人を超える方にご賛同いただいています
(開始日:2023年3月27日)

詳しく知りたい方、
ご賛同いただける方
はこちら



2023年3月、広島県呉市で地域猫が惨殺される悪質な動物虐待・殺害事件が発生しました。猫を殺害・虐待する様子を動画共有サイトで公開するなどしていた犯人は「愛護動物にあたらぬノネコだ」と平然と主張。動物虐待・殺傷に鳥獣保護管理法が利用されたのです。「ノネコ」が狩猟鳥獣に指定されていなければ、今回の悪質かつ残忍な殺害事件は防げた可能性が高く、今後同様の事件が発生しないために、そして、想像を絶する恐怖と苦痛のなかで命を奪われた猫のためにも、鳥獣保護管理法の狩猟鳥獣から「ノイヌ」「ノネコ」を削除するよう環境省へ要請しています。

殺処分ゼロのために福岡県動物愛護センターでノラ猫8,000匹の無料不妊手術をしてください



40,000人を超える方にご賛同いただいています
(開始日:2023年1月4日)

詳しく知りたい方、
ご賛同いただける方
はこちら



どうぶつ基金は、2021年から2年間にわたって福岡県に「どうぶつ基金病院」を開院し、「TNR 地域集中プロジェクト」として一斉 TNR に取り組み、2年間で7,000頭を超える猫に不妊手術を実施しました。この流れを止めたくないとの考えから、福岡県知事及び県議会に「野良猫の避妊・去勢手術の実施に関する要望」を提出しており、その後も継続して働きかけを行っています。

要望書、質問状提出

2023年4月13日 4月19日

福岡県・服部誠太郎知事と桐明和久県議会議長あてに
要望書を再提出／福岡県知事に公開質問状を提出

2023年9月1日

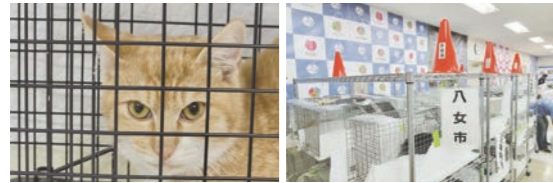
福岡県知事に再度の公開質問状と意見を提出



2023年2月1日にどうぶつ基金、日本獣医師会前会長の山根義久氏、福岡大学教授の山崎好裕氏、弁護士の朝隈朱絵氏、福岡県内20市町の首長が連名し、署名5万筆を添えて「野良猫の避妊・去勢手術の実施に関する要望」を提出しましたが、同要望に対する福岡県からの回答は現状を正しく認識しておらず、連名した20市町ならびに1万筆を超える福岡県民の要望をまったく汲み取っていないゼロ回答でした。そこで、追加で集まったオンライン署名による4万筆の署名を添えて2023年4月13日に要望書を再提出、4月19日に公開質問状を提出しました。

福岡県からの回答に今後の展望見えず！

福岡県からは4月28日付で回答がありましたが、その内容は前回提出した要望書への回答同様「手術範囲の拡大は考えていない」の一点張りで、今後の展望についても現在と何ら変わらないものでした。どうぶつ基金からは無料不妊手術の需要があるという数値的根拠を示しています。にもかかわらず、福岡県は要望書に対しても公開質問状に対しても、これを全く無視した回答を続けています。そこで福岡県の公開質問状回答に対する再質問と意見を9月1日に提出しました。どうぶつ基金は、福岡県動物愛護センターによる野良猫8,000頭の無料不妊手術実現に向け、今後も連名自治体や県民の皆様とともに要望を継続していきます。



詳しくはこちら ▶



福岡県からのゼロ回答に対し「野良猫の避妊・去勢手術の実施に関する要望」を再提出



署名4万筆、福岡県で野良猫の無料不妊手術を再度の公開質問状と意見を提出

2023年11月1日

大阪市・横山英幸市長宛に要望書を提出

大阪さくらねこの会、どうぶつ基金、特定非営利活動法人ねこだすけ、獣医師の山口武雄氏が連名し、大阪市「所有者不明猫適正管理推進事業」実施細目の改定に関する要望書を提出しました。

要望がかない、細目が改正！

2024年4月1日付にて大阪市の地域猫活動、所有者不明猫適正管理推進事業（街ねこ事業）の細目が改正されました。これまで、自治会長の独断で許可制に等しい運用を許し、地域住民から「活動を始めたい」という意見を会議や話し合いの場すら持たず、自治会長が黙殺していた事例もあったことに比べると、大きな一歩です。



◀ 詳しくはこちら

大阪市の地域猫活動を推進するために「自治会長の合意書」という必須条件を無くして！ 市長に要望



2024年1月23日

沖縄県・玉城デニー知事と赤嶺昇県議会議長宛に要望書と署名を提出



どうぶつ基金、獣医師の黒澤泰氏、弁護士の朝隈朱絵氏、一般社団法人琉球わんにゃんゆいまーる、沖縄野良猫TNRプロジェクト、NPO法人ゴールゼロ、特定非営利活動法人SCAT/アニマル&ヒューマンウエルフェア、大阪さくらねこの会、一般社団法人ねこかつが連名し、「沖縄県動物の愛護及び管理に関する条例（案）」から第13条の削除を求める要望書とオンライン署名25,750筆、自筆署名2,730筆（うち58筆は他の都道府県在住者によるもの）を一次提出しました。

野良猫への餌やり禁止条項に反対！

沖縄県の現状は「猫を遺棄した者」を取り締まらず、行政による野良猫や地域猫に対する無料不妊手術もほとんど実施せず、多数の猫の不妊手術を実施できる体制も構築してこなかった無責任な行政の不作为の結果に他なりません。どうぶつ基金は、引き続き、大きな問題のある第13条の削除を求めてあきらめることなく働きかけを行っていきます。

詳しくはこちら ▶

野良猫への餌やり禁止条項に反対！
沖縄県知事、沖縄県議会議長に要望書と署名28,480筆を提出



2024年1月26日

伊藤信太郎環境大臣宛に要望書を提出

どうぶつ基金は、伊藤信太郎環境大臣宛に「鳥獣保護管理法の狩猟鳥獣から「ノネコ」「ノイヌ」の削除を求める要望書」と署名47,284筆を一次提出しました。

直ちに是正を！

環境大臣は署名47,284筆の要望を真摯に受け止め法律の不備を直ちに是正し、鳥獣保護管理法の狩猟鳥獣からノネコ、ノネコを削除するよう要請しました。



◀ 詳しくはこちら

署名47,284筆！環境省に「狩猟鳥獣からノネコノイヌの削除を求める要望書」を提出



2021.4.22 happy earth day!

ちきゅう部、前進。

ちきゅう部宣言

1. どうぶつ基金はこれまで、犬や猫が殺処分されることなく、幸せに人と共生できる世の中を実現するため、さくらねこTNRを中心に活動してきました。
2. その活動を通して、ヒトも犬もネコもミジンコも木や花も土も水も、みんな絶妙なバランスでつながっていること、どれひとつ、ないがしろにしてはうまくいかないことに気がつきました。
3. ヒトが何かを守ろうとして他のいきものを駆除すると、絶妙なバランスが崩れ、けっか、地球全体や人の心まで壊してしまう、そんなことが現実起きています。
4. そこで地球の全体を見て考え行動する「ちきゅう部」を、アースデイ4月22日に設立します。(アースデイがバースデイです)。
5. これまでの活動で養った「常識を疑う目」で地球の全体を見ます。(「常識を疑う」姿勢を大切にします)。
6. どうぶつ基金は、ちきゅう部の設立にあたって、大ぶろしきを広げます。そして地球をやさしさで包み込みます。

2021年4月22日 アースデイ どうぶつ基金

どうぶつ基金が活動を進めるなかで見えてきたこと、それは「私たちの周りのすべての生物を取り巻く地球全体の自然環境が危機的な状況にある」ということでした。そこで、これまでの経験と知恵を活かし「すべてのいきものが幸せに共生でき、かつサステナブルな地球環境を実現する」ために新たなセクションを設立しました。それが「ちきゅう部」です。
「すべてのいきものが幸せで自由な地球」になるには「すべてのいきものが幸せに共生できるサステナブルな地球環境」を実現しなければなりません。その実現に向けて特に配慮したいのは、

- 「いきもの目線で弱者にやさしくする。」
- 「ヒトの役に立つから、希少だから、という理由で命に差をつけない中長期的な視点を持つ。」

この二点です。
これは、どうぶつ基金が長年取り組んでいる「奄美大島における生態系保全のためのノネコ管理計画」への反対活動のなかで何よりも強く感じたことでした。科学的にも正しい、いきものと弱者へのやさしさを、広く伝えていきたい。それができるどうぶつ基金になりたい。
犬や猫だけでなく、というより、犬や猫のためにも、ほかのいきものの命も大切にしたい。人間の健康な未来も大切にしたい。
どうぶつ基金の定款にある目的/ミッションは「動物の適正な飼育法の指導・動物愛護思想の普及等を行い、環境衛生の向上と思いやりのある地域社会の建設に寄与すること」です。ここに、目指すべき未来への展望として「すべてのいきものが幸せで自由な地球」を加え、今まで以上に幅広く活発に活動していきます。



奄美ノネコ駆除はアマミノクロウサギ増加に寄与せず。あらためて猫駆除の中止を要請！

2023年10月18日に参議院会館で行われた「犬猫の殺処分ゼロをめざす動物愛護議員連盟」第2回ノイヌ・ノネコPT関係者ヒアリングに出席。あらためて「奄美大島における生態系保全のためのノネコ管理計画(2018年度～2027年度)」を即刻中止するよう環境省に要請しました。

猫の駆除なしの15年でアマミノクロウサギは500%増加、駆除後も増加率に変化なし！

アマミノクロウサギ生息数推移データ

	奄美大島				徳之島			
	マングース駆除	クロウサギ数	増加率	スタジイ豊凶	ノネコ駆除	クロウサギ数	増加率	TNR (どうぶつ基金)
2001年	3375	環境省中央値				環境省中央値		
2002年	2191							
2003年	2565	2329				290		
2004年	2524	2984	1.28			372	1.28	
2005年	2591	3490	1.17			485	1.30	
2006年	2713	3927	1.13			551	1.14	
2007年	783	4349	1.11			617	1.12	
2008年	946	4838	1.11	大豊作		683	1.11	
2009年	598	5461	1.13			749	1.10	
2010年	312	5642	1.03	凶作		768	1.03	
2011年	272	5618	1.00	大豊作		801	1.04	
2012年	197	6275	1.12			768	0.96	
2013年	130	6743	1.07	凶作	※1 (13)	862	1.12	
2014年	71	7770	1.15			1017	1.18	
2015年	40	8665	1.12			1144	1.12	2136
2016年	28	9968	1.15	大豊作		1290	1.13	
2017年	10	11592	1.16	凶作	管理計画	1436	1.11	
2018年	1	13152	1.13	中豊作	43	1883	1.31	
2019年	0	15259	1.16		125	2189	1.16	
2020年	0	17094	1.12		27	2626	1.20	
2021年	0	19558	1.14		124	2824	1.08	
	合計19347頭	平均増加率	1.13		319	平均増加率	1.14	

※1. 奄美ノネコ駆除は2003年から2017年までの間に13頭 ※上記データから「マングース駆除数」「スタジイ豊凶」「ノネコ駆除」とクロウサギ増加の相関性は認められない。

● 分析結果

1. マングース駆除が行われた奄美大島とそもそもマングースがいない徳之島のアマミノクロウサギ増加率はどちらも年平均13~14%である。
2. 奄美大島のスタジイ豊凶とアマミノクロウサギ増加率に相関性は見いだせない。
3. 奄美大島におけるノネコ駆除が行われなかった2014~2017年のアマミノクロウサギ増加率(平均15%)と、319頭の駆除が行われた2018~2021年の増加率(平均14%)に変化がない。

環境省から得たデータを基に独自に分析した結果、「マングース駆除数」「スタジイ豊凶」「ノネコ駆除数」とアマミノクロウサギ増加に相関性はないと断定できます。
科学的な根拠なく、猫をマングースの次のターゲットにした「奄美大島における生態系保全のためのノネコ管理計画(2018年度～2027年度)」は**即刻、中止すべき**です。

▼ 詳しくはこちら ▼



オンライン署名:世界遺産を口実に、奄美や沖縄の猫を安易に殺処分しないでください!



ちきゅう部ブログ:奄美ノネコ駆除はクロウサギ増加に寄与せず猫駆除の中止を要請

どうぶつ基金は、科学的根拠なく3,000頭もの猫の命を奪う「奄美大島における生態系保全のためのノネコ管理計画」に強く反対しています。



各分野のスペシャリストより届く内容はとても興味深いものばかり!

メルマガ登録は今すぐこちらから



ちきゅう上のいきものや環境のことを様々なテーマで発信しています。

【ちきゅう部だより】
コンゴからのシリーズ



【アジアの動物事情レポート】シリーズ





2023年度 メディア掲載・放映一覧 (2024年3月31日 現在)

4回 掲載数	新聞掲載		
	2023 5 / 13	宮崎日日新聞	どうぶつ基金に宮崎市が感謝状
	2023 6 / 23	北海道新聞	佐呂間で多頭飼育崩壊 犬70匹超 27日から不妊手術
	2023 6 / 29	毎日新聞	不衛生な牛舎に犬70頭
2023 11 / 10	毎日新聞	猫の多頭飼育崩壊 防止へ	

11回 放送数	テレビ放映		
	2023 4 / 5	テレQ	動物に幸せな暮らしを 厳しい現実の一方 地道な取り組みも
	2023 6 / 15	北海道ニュースUHB	乳牛の周りに「100匹以上のイヌ」が 劣悪な環境の牛舎で「多頭飼育崩壊」… 餓死など悲惨な事態も 救出活動が進む
	2023 6 / 15	北海道ニュースUHB	「100匹以上の犬」牛舎の劣悪環境で飼育 "死んでいる犬" 10匹以上確認… 3年前から苦情多数 多頭飼育崩壊で救出作業へ
	2023 6 / 16	HBCニュース 北海道放送	牛の周りに犬80匹群がる… 劣悪環境で多頭飼育の牧場、町が動物愛護団体に協力要請
	2023 6 / 16	HBCニュース 北海道放送	死んだまま放置の犬も…犬80匹と牛十数頭「多頭飼育崩壊」の牧場 町などが保護に向け活動 北海道佐呂間町
	2023 6 / 27	HBCニュース 北海道放送	多頭飼育崩壊の現場、死んだ犬も放置…身勝手な飼い主(74)の言い分に 救済着手の愛護団体憤り「責任をとってもらいたい」
	2023 6 / 27	北海道ニュースUHB	【ワンコ救出】"多頭飼育崩壊"の牧場から約70匹を獣医師らがレスキュー開始… 衛生状態悪く衰弱したイヌも…北海道佐呂間町
	2023 6 / 27	HTB北海道ニュース	ウシとイヌ100匹以上 多頭飼育崩壊 牧場主「こんなに増やすつもりはなかった…」北海道・佐呂間町
	2023 6 / 27	STVニュース北海道 日テレニュース	約100匹の犬 牧場で多頭飼育崩壊 牛に踏まれ死んだ子犬も 動物愛護団体が不妊手術
	2023 8 / 14	UMKテレビ宮崎 (宮崎ニュースUMK)	野良猫の繁殖を防げ!宮崎市が不妊去勢手術

1回 掲載数	広報誌	
	2023 8 / 1	広報もりぐち

481回 掲載数	ウェブニュース掲載	
	一覧が(一部)ご覧になります。	
18回 掲載数	PR TIMES掲載	
	一覧がご覧になります。	



2023年11月10日 毎日新聞



2023年5月13日 宮崎日日新聞



2023年4月5日 テレQ



2023年8月1日 広報もりぐち



2023年6月23日 Yahoo!ニュース



2023年6月27日 NHK(北海道NEWS WEB)



2023年6月23日 北海道新聞



2023年8月14日 UMKテレビ宮崎(宮崎ニュースUMK)

買わずに飼ってね!

いのちつないだ♡ワンニャン写真・動画コンテスト

いきものが自由でしあわせ

すべての犬や猫が幸せに暮らせる世界を目指してスタートしたコンテストは、今年で14回目を迎えました。幸せになったワンちゃん・ネコちゃんの姿は、消えかかった命の火をつなぎ、その小さな命とともに生きる喜びと素晴らしさを私たちに教えてくれます。保護犬や保護猫の里親になることや、地域猫のお世話をすること——。命を買わない選択肢があることを多くの方々に知っていただき、1頭でも多くの犬猫が幸せをつかむきっかけにしたいと考えています。私たちは走り続けます!最後の1頭が幸せになるその日まで。

応募総数
2,355件



■ 環境大臣賞 ありがとう
2022年12月11日、17歳の誕生日にママは虹の橋を渡りました。写真は11月に大好きな公園で撮影しました。ママは嬉しくてとびきりの笑顔を見せてくれたね。17年間ママと一緒に生きることができて、私たちはとても幸せでした。たくさんの幸せをありがとう。これからもずっと一緒だよ。



voice 犬や猫の殺処分が地球上からなくなりますように 友井 千佳さん

ママの写真が「環境大臣賞」に選ばれたことを知った時、お空にいるママからのプレゼントだと思いました。家族で大阪で開催された写真展を訪れ、大きく飾られたママの写真を見た時は、嬉しくて涙が止まりませんでした。保護犬から生まれたママと過ごした17年間は私たちにとって宝物です。2019年からこの写真コンテストに参加していますが、保護犬、保護猫に対する意識が大きく変わりました。保護犬や保護猫を家族として迎えることがもっと一般的になり、犬や猫の殺処分が地球上からなくなることを心から願っています。そのために自分ができることを少しずつしていきたいです。

全てのワンニャンに幸せな日々を

ワンニャン写真動画コンテストを通じて、保護犬やさくらねこ達の存在が認知され、共感くださる方が増えてきていると実感しています。引き続き、多くの方々にこの活動を知っていただき、全てのワンニャン達が幸せに過ごせることが日常であることを願います。



審査委員長 GLAMOROUS co.,ltd.
代表 森田 恭通
Photo by Emma Amber

素晴らしい作品の数々に感動

今年も素晴らしい、ワンニャン写真動画コンテストの応募作品にとても感動いたしました。環境大臣賞は、お写真から、温かなママちゃんに対する愛情がひしひしと伝わってきます。思い出は、ずっとこのお写真と共に生き続ける事と思います。大阪府知事賞は、ペロンちゃんとの距離感がとても近くて、私が描く絵画にも通じて、とても笑顔溢れるお写真です。理事長賞は、兄イヌさんと弟ネコさんたちの互いの視線が、とてもキュートで素敵なお写真です。そして、未来への希望を感じるお写真です。審査員特別賞は、紅葉した落ち葉と黒猫さんの配色が素晴らしいお写真です。とても生き生きとした世界を感じます。



特別審査委員 ペペ島田

心が動く優しい視線と愛情

今年の入賞作品は、ほっこりと心があたたまると同時に、カラフルで美しい写真が印象的でした。ワンコ部門は、犬たちの生き生きとした表情やしぐさが捉えられており、飼い主さんがよく見ているなあと感じました。ニャンコ部門もかわいだけでなく、絵になる瞬間を捉えられていて、非常に美しい写真が多かったです。さくらねこ部門は、街の中に溶け込みながらも、人々から愛情を受けている猫たちを美しく切り取られていたと思います。どの写真も動物たちを見つめる優しい視線と愛情が感じられ、心動かされました。



特別審査委員 ハニハジメプロダクツ
八二一

この愛が世界中に広がれ!

皆様への愛に溢れた写真をたくさん拝見できて幸せでした。犬や猫たちが家族に見せてくれる表情はとても癒しを与えてくれます。この愛が世界中に広がることを願っています!



特別審査委員 JUNICHI

写真展が全国で行われました。

長崎県	大村市	長崎水辺の森公園
大阪府	大阪市	大阪市動物愛護体験学習センター
大阪府	摂津市	摂津市立コミュニティプラザ
長崎県	大村市	シーハットおおむら文化棟
大阪府	摂津市	摂津市立コミュニティプラザ
長崎県	大村市	長崎県立図書館ミライON
奈良県	五條市	五條市役所
和歌山県	橋本市	和歌山県立橋本体育館
埼玉県	川口市	川口市民ホール・フレンドピア

作品展・作品パネル貸出

あなたの町でも「いのちつないだワンニャン写真・動画コンテスト作品展」を開催しませんか?どうぶつ基金では、展示品を全国に無料貸出しています。どうぶつ基金ウェブサイトよりお申し込みください。



啓発素材のフリー提供

どうぶつ基金では、フライヤーやポスター等、活動・啓発資料を無料提供しています。



フライヤー・ポスター等提供はこちら。



絵本がeBookでご覧になれます。

さくらねこ絵本が大好評!





行政による犬猫の団体譲渡事業推進のための助成金制度

1,451頭 × 7,000円

犬や猫を殺処分前に救って
新しい家族を見つける活動を支援しました。

全国各地の保健所等で行われている犬や猫の団体等譲渡制度を推進するために、団体等譲渡制度に登録し、行政から収容動物を引き取り、新しい飼い主に再譲渡している団体または個人活動家の方に、

1頭あたり、7,000円の助成を行いました。

団体等譲渡制度とは



行政が運営する保健所等が、新たな飼い主を探す活動を行っている団体又は個人へ、収容された犬及び猫の譲渡を行う制度です。譲渡を受けるには、各保健所への登録が必要です。行政とボランティア団体が協力することで、より多くの収容された犬猫に家族を得るチャンスを与えることができます！

■ 2023年度助成実績

2023年度は、**1,451頭**が再譲渡され、合計 **10,157,000円**の助成を行いました。

頭数 **1,451頭**

× **7,000円** =

助成金額合計 **10,157,000円**



「雨ニモマケズ」

サウイフモニ ワタシハナリタイ

左：歌乃さん（柴犬 ♀）推定13歳 / 譲渡時推定5歳 パピーミル崩壊から保護

右：ガブリエル（柴犬×ビーグル ♂）4歳 / 譲渡時9ヶ月齢 ペットショップの廃棄処分から保護

「いのちつないだ♥ワンニャン写真・動画コンテスト」 瀧澤 潮

voice

殺処分前の小さな命を救うために

非営利型一般社団法人ねこたまご



私達は主に、行政に収容されて殺処分対象となる猫の保護をしています。その中でも行政で一番収容数の多い離乳前の子猫の保護に特化しています。どうぶつ基金を通じて頂く皆様からのご支援のお陰で、助ける事のできる命の数は年々増え続けていて、保護猫達の大きな力になっています。どうぞこれからも、小さな命を救う活動に力を貸して頂けたら幸いです。

一代限りの命を懸命に生きる「さくらねこ」に思いを馳せて一首

3月22日「さくらねこの日」にあわせて、「さくらねこ」のこと、飼い主のいない猫のこと、そして命の大切さを考えていただくきっかけとするため初めて「さくらねこ短歌コンテスト」を開催しました。

さくらねこ 短歌コンテスト

のことを考える1カ月



短歌とは

短歌は五・七・五・七・七の三十一文字で構成され、俳句と違って必ずしも季語を入れる必要はありません。字余り・字足らずでもOK、口語や文語など言葉遣いの制約もありません。

「さくらねこ」とは

不妊手術済みのしるしに、耳先をさくらの花びらの形にカットしたねこの事です。この耳のことを、さくら耳といいます。

初の試みでご応募いただけるのか不安もありましたが、予想を上回る1654首のご応募がありました！どの作品も、五・七・五・七・七の三十一文字に猫たちへの想いや愛が詰め込まれた良作ぞろいで審査は難航。そこで急遽、各審査員賞を追加し、「さくらねこの日」である3月22日に、大賞、各審査員賞、優秀賞の15首を発表いたしました。

大賞

魂の欠けた部分を 探すように
さくらねこ鳴く さくらねこ鳴く

どこかもの悲しさを感じさせ、心が揺さぶられる作品。
最後の「さくらねこ鳴く」のリフレインが効果的。

須藤 薫さま

voice

一首の歌に願いを込めて

大賞受賞者 須藤 薫さま

この度は大賞を受賞することができて大変嬉しいです。ありがとうございます。

恥ずかしながら私は、このさくらねこ短歌コンテストで初めて「さくらねこTNR」を知りました。野良猫や地域猫の一生、猫にとっての幸せについて考えさせられました。人間の身勝手な不幸な猫をこれ以上増やしてはいけません。そんな想いに共感し、すべての猫が安全で幸せな猫生を送れるよう願いを込めて、この歌を詠みました。

少しでも猫のために、猫と我々が共に生きていくために必要なこの活動のお力になれば幸いです。

山崎好裕賞

人生で初めてゲイと 打ち明けたのは
黒い身体の さくらねこ
山口 康介さま

マエキタミヤコ賞

病癒え 退院したよ さくらねこ
君のしっぽが 見れてうれしい
大内 史夫 さま

佐藤修史賞

釣果待つ 僕の傍ら 「君は誰？」
耳で答えた 「ぼくさくらねこ」
衣川 路世さま

理事長賞

どの木から いただいたのか その耳は
みどりの風に 舞うさくらねこ
Spiga Fabrizio さま

優秀賞

ねえ聞いて ぼくの悩みを さくらねこ
彼女やっぱり 犬派だったよ
甲斐 和雅 さま

優秀賞

さくらねこ もう大丈夫と 撫でながら
無口な夫が 饒舌になる
木内 美由紀さま

優秀賞

さくらねこ 庭から庭へと パトロール
一人暮らしを 癒やして回る
山本 里枝 さま

優秀賞

さくらねこ 雪降る今日も 生きてるか
路上の肉球 スタンプ探す
鈴木 富士子 さま

優秀賞

さくらねこ 恋するハート 笑み溢れ
登校班の 人気者なり
池田 信子 さま

優秀賞

この耳は 避妊去勢をした印
覚えて欲しい 「さくらねこ」です
渡我部 美香 さま

優秀賞

さくらねこ 今日は寒いね 暑いねと
日々励まし合う 大切な君
石川 あおい さま

優秀賞

日々通い 世話をした人 辛かろう
さくらねこ逝き 通う人消え
遊佐 栄子 さま

優秀賞

さくらねこ 生き様刻む その耳に
見ているだけで 切な愛おし
早野 嘉一 さま

優秀賞

もうリスカなんてするなと 言う代わりに
あなたに見せる さくらねこの写メ
山本 里枝 さま

審査委員ご紹介(敬称略)



山崎好裕(やまざきよしひろ)

福岡大学教授。代々続く神官の家に生まれ、多くの保護猫に囲まれて育つ。幼時から古典・漢籍に慣れ親しみ、小中学生のころは日記代わりに毎日短歌を詠んでいた。東京大学学生俳句会部長を経て、現在俳誌『天為』同人、俳人協会会員。経済学者としての専門的立場から動物政策について環境省や各地方自治体にアドバイスをを行っている。新聞連載を中心に歴史小説家としても活躍中。



マエキタミヤコ

環境広告(株)サステナ代表。
エコシフトのための、ソーシャル・コピーライター、ブランディング・ディレクター、キャンペーン・ディレクター、
ソーシャル・デザイナー。



佐藤修史(さとうおさふみ)

1968年生まれ。93年に朝日新聞社に入社し、文化くらし報道部デスク、社会部デスク、週刊朝日編集長などを歴任。現在はフリーで、宮崎市在住。自宅には保護猫が3匹。探検、釣り、ロック、家庭菜園、撮影など多趣味。



佐上邦久

1960年生まれ。公益財団法人どうぶつ基金理事長。犬や猫の行政による殺処分をゼロにするため、さまざまな取り組みに日夜奮闘中。趣味は保護した犬達との毎日の散歩と中国茶の時間。

総評



審査員 山崎好裕さま

短歌や俳句といった短詩系文学は日本が世界に誇るべき文化です。それらは日本語の表現の幅を広げ、日本語を美しく磨いていくことに大きく貢献してきたと言っていいでしょう。幼いころから短歌を日常的に自作してきて、現在は俳人として作品を発表し続けている私も、そのような自覚と自負を持ってこれまでも多くの歌や句を作ってきました。ですので、今回どうぶつ基金さんが「さくらねこ」という美しく、詩心を触発する言葉をテーマに短歌コンテストを開いてくださったことは、たいへん喜ばしいことと思っています。
良い短歌を詠むには日ごろから心の感動を大切に感じ取っておくことが大事です。詩歌は作るものではなく、心から湧き上がってくるものだからです。今回は短歌を作り慣れているベテランの方から若く感性豊かな皆さんまで、多くの作品を拝見することができてとても楽しかったです。次の機会にも皆さんの素晴らしい作品を審査することができるように願っています。

審査員 佐藤修史さま

ヒトとネコの共生をめざすうえで、現時点での必要な措置として存在する「さくらねこ」。
V字の耳はかわいいが、かなしみにもじませる。多くの愛猫家とその矛盾・葛藤と真摯に向き合い、たった1カ月で1500を超す作品が寄せられた。さくらねこの意味を情感たっぷりに説いた歌、けなげに生きる姿を活写した歌、人との触れ合いを柔らかく描いた歌……
どの作品にも愛情があふれ、一つひとつにうんうんと頷きながら拝見した。審査という面では難渋を極めた。いずれも甲乙つけがたい、すばらしい作品群であった。

「さくらねこ短歌コンテスト」は来年も開催が決定しました！

初めてのご応募も二度目のご応募も大歓迎！

来年も素晴らしい短歌に出会えることを楽しみにしております。



SAKURANEKO SHOP

オーガニックコットンやバンブーファイバーなど、人にも地球にもやさしい素材を使用したグッズが勢ぞろい。ショッピングを通して、地球環境や動物愛護の問題を考えてみませんか。

*利益はすべて犬や猫の救済をはじめ地球の生き物を守る活動に使われます。



BASE店



YAHOO!店



アーティストのご紹介



竹の繊維を使った
マグカップ



竹の繊維を使った
蓋付きタンブラー



オーガニックコットン製
5.3オンスTシャツ



オーガニックコットン製
巾着トートバッグ



繰り返し使える
ガラス製ストロー



2024
カレンダー



大切な命を守り、 ともに生きていく。

どうぶつ基金は、人間の勝手な都合によって殺処分される犬や猫をゼロにするために設立されました。それから35年。多くの皆様からのご支援によって、「さくらねこTNR」や多頭飼育崩壊の救済、里親探し助成金などの活動を続けています。殺処分ゼロ実現に向けて、あなたに合った方法で私たちの活動を支援してください。



ご寄付のお願い

どうぶつ基金ではさまざまなご寄付方法をご用意しています

3,000円で一頭のオスねこが…
5,000円で一頭のメスねこが…

「さくらねこ不妊手術」を受けることができます。

郵便局 00230-8-72832
公益財団法人どうぶつ基金
(コウエキザイダンホウジンドウブツキキン)

銀行 三井住友銀行 芦屋駅前支店(店番号380)
普通 4172198 公益財団法人どうぶつ基金
(コウエキザイダンホウジンドウブツキキン)

* 公益財団法人どうぶつ基金 への寄付は、税制上の優遇措置の対象となります。



どうぶつ基金



つながる募金



YAHOO!募金



その他の寄付方法

遺贈や相続財産による寄付

遺言による寄付(遺贈)や相続した財産からの寄付も受け付けています。わかりやすいパンフレットをご用意しておりますので、お気軽にご請求ください。

※遺贈寄付を行うには、遺言書の作成が必要です。

※遺贈による公益財団法人どうぶつ基金への寄付は、一定の条件を満たすことで相続税はかかりません。

※相続開始後10か月以内にご寄付いただき、どうぶつ基金が発行する「領収書」を相続税申告書類に添付して申告していただく、ご寄付いただいた財産には相続税がかかりません。

※現金以外の財産については、遺言執行者が現金化(換価処分)し、税金・諸費用を差し引いたうえで、現金にてご寄付いただくようお願いしております。



パンフレットのダウンロードはこちら。



寄付者の声

野良猫たちの幸せを願う支援をお客様とともに

有限会社 春木屋 様

コーヒーの売上の一部をさくらねこ支援の寄付にする仕組みは、開始当初に考えていたよりもはるかに多くのお客様の賛同をいただき、ふるさと納税などでも多くのご支持をいただいております。愛らしくも切ない「野良猫」という存在の彼らが、少しでも幸せな時間を過ごせるよう心から祈ると同時に、そのためのささやかな行動をこれからも続けていきたいと考えています。寄付文化がまだまだ未熟だと言われる日本にあって、こうした取り組みがきっかけとなり、息の長い寄付、支援活動になっていくことを願っています。



山梨県富士吉田市にある日本茶とスペシャルティコーヒーの専門店。「さくらねこTNR」の支援を目的として、2021年6月から現在までずっとご支援いただいております。



Love Cats Blend さくらねこ支援 P-COFFEE (日本茶、紅茶のセットもあります)



詳しくはこちら

桜色の5匹の猫が教えてくれる「さくらねこTNR」

信州吉野電機株式会社 様

「マグネット桜猫」は、桜色した5匹の猫たちが元気に跳ね回り、一緒になると幸せな桜の形になります。実は、まったく別の企画としてデザインしたアイテムでしたが、ちょうど形が「桜猫=さくらねこ」であることから、「さくらねこTNR」に本商品売上の一部を寄付する形でご支援させていただくことになりました。

地域社会と野良猫たちが幸せに共存していくための本活動を、もっと広く知っていただくきっかけとして「マグネット桜猫」がお役に立てましたら光栄です。



マグネット桜猫 5個入り



詳しくはこちら

ご寄付の使いみち

TNRと多頭飼育崩壊の救済支援



出張手術



里親探しの支援



知ってもらおう活動



お問い合わせ 寄付や遺贈についてお気軽にお問い合わせください。

公益財団法人
どうぶつ基金
ANIMAL ACTION FUND

公益財団法人 どうぶつ基金 659-0004 兵庫県芦屋市奥池南町71-7
寄付のお問い合わせは **0797-57-1215** (平日 10:00~17:00)
contact@doubutukikin.or.jp www.doubutukikin.or.jp



殺処分ゼロを目指して

公益財団法人どうぶつ基金は1988年の設立以来、

犬や猫の殺処分ゼロの実現を目指して活動を続けてきました。

基金では、殺処分ゼロを実現するために年間5万3千頭におよぶ猫の無料不妊手術をはじめ、

無料不妊手術専門の動物病院運営や助成金制度、

啓発イベントの開催など、さまざまな事業に取り組んでいます。



どうぶつ基金のあゆみ

1988年	富岡操が財団法人横浜動物福祉協会を創設	2018年	あまみのさくらねこ病院開設(2019年6月閉院) 奄美大島のすべての猫を対象に無料不妊手術実施
1990年	神奈川県愛甲郡清川村に移転 シェルター運営開始	2019年	さくらねこTNR累計110,000頭突破 さくらねこ Japan Branding Awards2019 Winners賞を受賞
2005年	猫の無料不妊手術事業開始	2020年	さくらねこTNR累計160,000頭突破 内閣府賞勲局より「紺綬褒章」の公益団体認定
2006年	佐上邦久が代表に就任 財団法人どうぶつ基金に名称変更	2021年	全国3都市(大阪・福岡・宮崎)で TNR地域集中プロジェクトを実施 さくらねこTNR累計222,222頭突破
2010年	公益認定にともない名称を 公益財団法人どうぶつ基金に変更 事務局を兵庫県芦屋市へ移転 いのちつないだワンニャン写真コンテスト開始 (環境省後援)	2022年	全国4都市(大阪・福岡・宮崎・熊本)で期間限定の どうぶつ基金病院を展開、 TNR地域集中プロジェクトを実施 さくらねこTNR累計280,000頭突破
2012年	沖縄県石垣島で初の出張無料不妊手術 「さくらねこ」の名称誕生	2023年	さくらねこTNR累計330,000頭突破 さくらねこ短歌コンテスト開始
2014年	行政による犬猫の団体譲渡事業推進のための 助成金制度 開始		
2016年	日本財団賞受賞		
2017年	社会貢献支援財団奨励賞受賞 タイ国にて国際活動 (ソイドッグファンデーション アニマルホスピタル)		

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで 公益財団法人 どうぶつ基金 (単位:円)



科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益	351,434,737	348,037,972	3,396,765
基本財産運用益	5,160,873	5,354,714	△ 193,841
基本財産受取利息	0	0	0
基本財産受取配当金	5,160,873	5,354,714	△ 193,841
受取寄付金	326,684,559	334,894,561	△ 8,210,002
受取寄付金振替額	11,000,000	0	11,000,000
グッズ販売収益	5,249,431	6,773,223	△ 1,523,792
雑収入	3,339,874	1,015,474	2,324,400
(2) 経常費用	370,168,445	362,137,853	8,030,592
事業費	369,532,097	360,002,953	9,529,144
地代家賃	1,571,400	1,458,000	113,400
賃借料	149,166	99,000	50,166
水道光熱費	61,842	99,515	△ 37,673
旅費交通費	439,115	2,066,076	△ 1,626,961
通信費	1,415,444	1,119,137	296,307
荷造運賃	584,414	808,794	△ 224,380
広報費	18,316,418	22,190,582	△ 3,874,164
会議費	0	686,923	△ 686,923
消耗品費	1,977,814	10,283,049	△ 8,305,235
修繕費	2,580,006	1,698,840	881,166
減価償却費	2,899,405	2,793,289	106,116
保険料	7,275	105,794	△ 98,519
租税公課	97,270	498,070	△ 400,800
支払手数料	3,785,654	9,142,761	△ 5,357,107
支払報酬料	9,605,863	9,806,409	△ 200,546
事務手数料	7,954,081	8,582,263	△ 628,182
不妊手術援助費	306,500,898	274,404,765	32,096,133
支払助成金	10,404,498	12,443,800	△ 2,039,302
グッズ製作費	1,170,291	1,710,961	△ 540,670
雑費	11,243	4,925	6,318
管理費	636,348	2,134,900	△ 1,498,552
地代家賃	48,600	162,000	△ 113,400
賃借料	4,614	11,000	△ 6,386
水道光熱費	1,914	11,058	△ 9,144
旅費交通費	13,582	229,565	△ 215,983
通信費	43,777	124,349	△ 80,572
荷造運賃	18,076	89,866	△ 71,790
会議費	0	76,326	△ 76,326
消耗品費	48,921	251,440	△ 202,519
修繕費	79,794	188,760	△ 108,966
減価償却費	13,569	36,955	△ 23,386
保険料	225	11,756	△ 11,531
租税公課	62	39,630	△ 39,568
支払手数料	65,776	385,519	△ 319,743
支払報酬料	297,089	516,127	△ 219,038
雑費	349	549	△ 200
評価損益調整前当期増減額	△ 18,733,708	△ 14,099,881	△ 4,633,827
基本財産評価損益等	10,602,014	△ 18,429,124	29,031,138
評価損益等計	10,602,014	△ 18,429,124	29,031,138
当期経常増減額	△ 8,131,694	△ 32,529,005	24,397,311
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 8,131,694	△ 32,529,005	24,397,311
法人税、住民税及び事業税	115,800	88,400	27,400
当期一般正味財産増減額	△ 8,247,494	△ 32,617,405	24,369,911
一般正味財産期首残高	148,758,084	181,375,489	△ 32,617,405
一般正味財産期末残高	140,510,590	148,758,084	△ 8,247,494
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	116,936,767	0	116,936,767
一般正味財産への振替額	△ 11,000,000	0	△ 11,000,000
当期指定正味財産増減額	105,936,767	0	105,936,767
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	105,936,767	0	105,936,767
III 正味財産期末残高	246,447,357	148,758,084	97,689,273

貸借対照表

令和6年3月31日現在 公益財団法人 どうぶつ基金 (単位:円)



科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	53,036,209	47,182,423	5,853,786
売掛金	367,269	314,708	52,561
商品	1,619,247	1,993,057	△ 373,810
前払費用	1,193,379	3,600,580	△ 2,407,201
未収入金	446,113	445,153	960
流動資産合計	56,662,217	53,535,921	3,126,296
2 固定資産			
基本財産	76,413,817	68,472,242	7,941,575
投資有価証券	76,413,817	68,472,242	7,941,575
特定資産	135,936,767	48,000,000	87,936,767
TNR事業積立資産	105,936,767	0	105,936,767
TNR事業拡大積立資産	30,000,000	48,000,000	△ 18,000,000
その他の固定資産	8,219,586	11,132,560	△ 2,912,974
工具器具備品	477,486	929,760	△ 452,274
差入保証金	360,000	360,000	0
ソフトウェア	7,382,100	9,842,800	△ 2,460,700
固定資産合計	220,570,170	127,604,802	92,965,368
資産合計	277,232,387	181,140,723	96,091,664
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	30,445,634	32,024,884	△ 1,579,250
未払法人税等	115,800	88,400	27,400
未払消費税	95,300	141,400	△ 46,100
預り金	128,296	127,955	341
流動負債合計	30,785,030	32,382,639	△ 1,597,609
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	30,785,030	32,382,639	△ 1,597,609
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	105,936,767	0	105,936,767
(うち特定資産への充当額)	(105,936,767)	(0)	(105,936,767)
指定正味財産合計	105,936,767	0	105,936,767
2 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	140,510,590	148,758,084	△ 8,247,494
(うち特定資産への充当額)	(76,413,817)	(68,472,242)	(7,941,575)
(うち特定資産への充当額)	(30,000,000)	(48,000,000)	(△ 18,000,000)
正味財産合計	246,447,357	148,758,084	97,689,273
負債及び正味財産合計	277,232,387	181,140,723	96,091,664



どうぶつ基金は、
人とどうぶつが幸せに共生できる
社会づくりに貢献します。